

佐那河内村の読書調査

読書班 (徳島県立図書館)

新 孝一*¹ 眞本 英司*¹ 中火 保江*¹ 山口 洋子*¹ 田村 加代*¹ 宇山 博子*¹
 長尾由美子*¹ 岡村 素子*¹

1. はじめに

佐那河内村における読書の状況を把握するために、読書調査班では、読書に関するアンケート調査を実施し、分析・考察をこころみた。

2. 調査の目的と方法

現在の佐那河内村における読書状況の実態や図書館に関する意識を調査することにより、今後の読書状況を推進していくための参考資料とする。

具体的には、平成13年7月、佐那河内小学校の3年生以上の児童及び保護者、佐那河内中学校の生徒及びその保護者を対象として、「読書と図書館に関するアンケート」を実施した。また、両校の学校図書館を訪問し、担当の先生からの聞き取り調査も実施した。

3. 読書と図書館に関するアンケートの結果

1) 一般成人対象

このアンケートは、佐那河内小学校と佐那河内中学校の協力のもとに、児童・生徒の家庭に配布し、133通の回答を得た。以下にその分析を行う。

回答者の内訳は、表1・図1のとおりである。年齢・性別に著しい偏りがあるが、これは主に小・中学生の保護者が回答していることによる。

表1 回答者の男女別年齢分布 (人)

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 男性 | 0 | 0 | 10 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 19 |
| 女性 | 1 | 0 | 42 | 46 | 3 | 1 | 0 | 3 | 96 |
| 無回答 | 1 | 0 | 3 | 12 | 2 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| 計 | 2 | 0 | 55 | 66 | 6 | 1 | 0 | 3 | 133 |

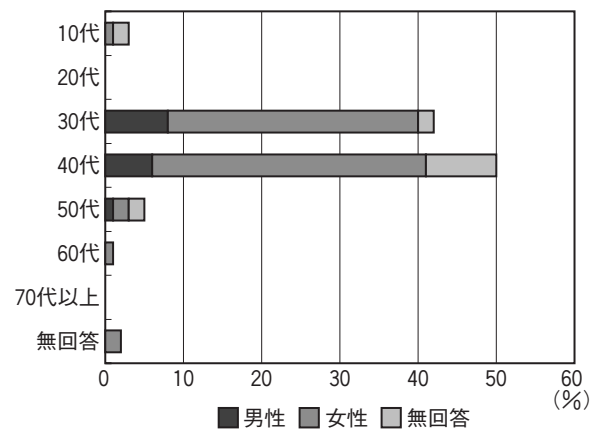


図1 回答者の男女別年齢分布

問1 (余暇の過ごし方について) あなたは、余暇をどのように過ごしていますか。(3つまで○を)

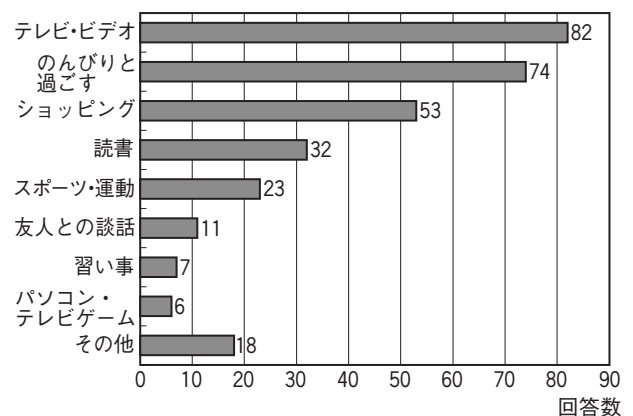


図2 余暇の過ごし方

図2のとおり、「テレビ・ビデオ」(82)と「のんびりと過ごす」(74)という回答が多く、「読書」(32)は第4位となっている。この結果は他の市町村での調査結果と同様の傾向である。

*1 徳島県立図書館

問2（1か月の本の平均読書量）あなたは、1か月に平均何冊本を読みますか。（雑誌・マンガは除く）

問3（1か月の雑誌の平均読書量）あなたは、1か月に平均何冊雑誌を読みますか。

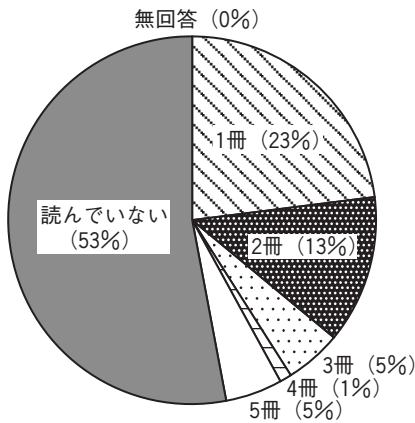


図3 読書量

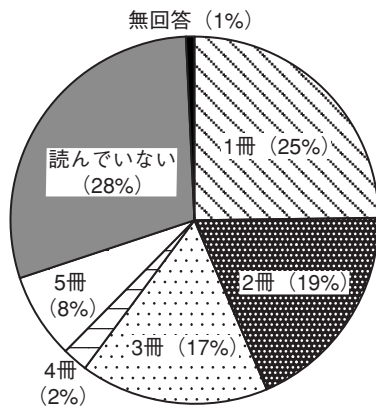


図4 読書量（雑誌）

本（雑誌・漫画は除く）の読書量について、「読んでいない」という回答が53%を占めている。この結果を昨年調査の相生町と比較すると、読書量はやや少ない傾向にある。また、本の読書量に比べ雑誌の読書量が多いのは、他の市町村と同様の結果である（図3・4）。

問4（読書の目的）あなたは、どんな目的で本や雑誌を読みますか。（2つまで○を）

「楽しみ」が最も多く（71）、次に「趣味・娯楽」（52）と続く。「仕事に活かす」（31）、「家庭生活に役立てる」（30）が、ほぼ同数となっていることが興味深い（図5）。

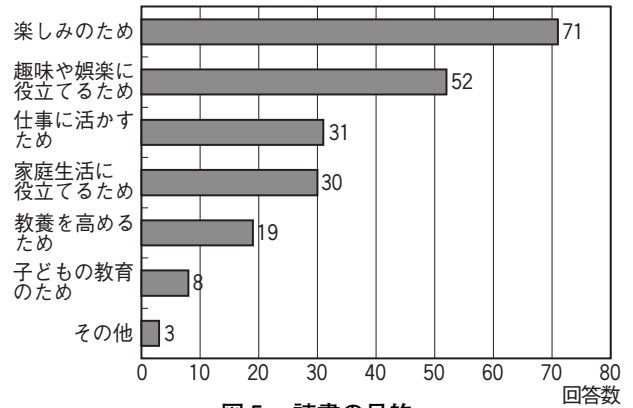


図5 読書の目的

問5（本や雑誌の入手先）あなたは、読みたい本や雑誌をどこで借りたり買ったりしていますか。（いくつでも○を）

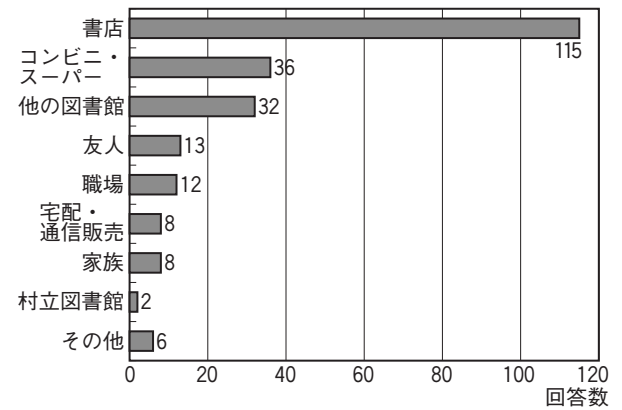


図6 本や雑誌の入手先

「書店」が（115）と多く、「コンビニ・スーパー」（36）、「他の図書館」（32）の順となっている。「他の図書館」と答えた人のうち、具体的には、県立図書館が（29）、那賀川町立図書館が（1）の回答があった（図6）。

問6（佐那河内村立図書館の利用）あなたは、この1年間に佐那河内村立図書館を利用したことがありますか。

問7（問6で、「ある」と答えた人に）図書館を利用したのはどんな理由からですか。

「ない」と答えた人が（94%）。「ある」と答えた人（4%）は、「本の貸出」、「読書」が利用理由になっていた（図7）。

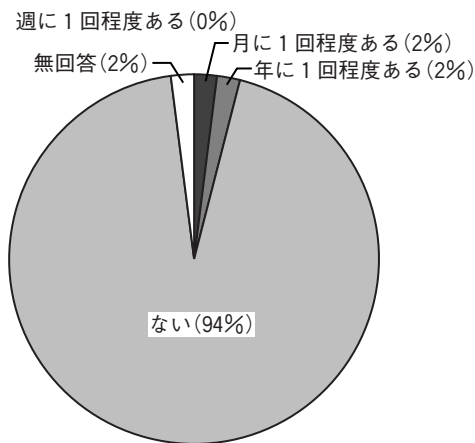


図7 佐那河内村立図書館の利用

問8 (図書館を利用しない理由) (問6で「ない」と答えた人に) どのような理由で、図書館を利用しないのですか。

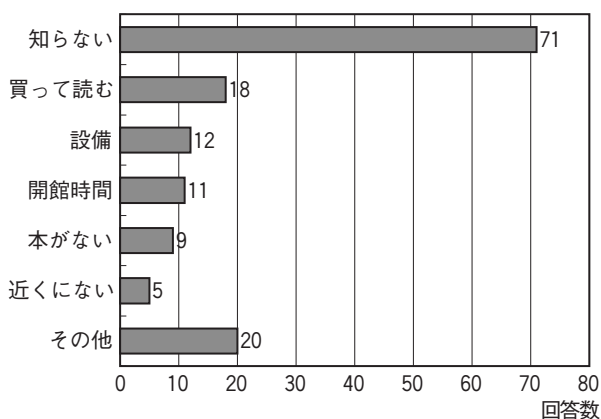


図8 村立図書館を利用しない理由

村立図書館がどこにあるか「知らない」が、半数近く (71) あり、「本は買って読む」(18)、「設備が悪い」(12)、「開館時間が短い」(11)、「本がない」(9)、「近くにない」(5)と続く (図8)。

問9 (他の読書施設の利用) あなたは、佐那河内村立図書館以外の読書施設を利用していますか。

村立図書館以外の読書施設も利用していない人がほぼ半数 (68) だったが、約4割の人 (53) が県立図書館を利用していた (図9)。

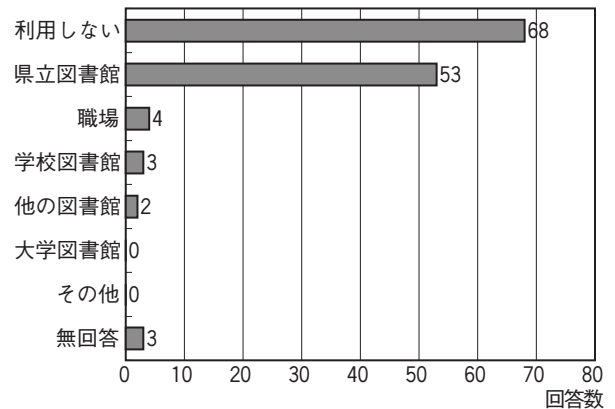


図9 他の読書施設の利用

問10 佐那河内村立図書館や県立図書館への希望があれば書いてください。

佐那河内村立図書館については、施設面についての要望が一番多く、「明るく入りやすい雰囲気」(6)、「狭い・もっと広い空間が欲しい」(4)、「独立した建物にしてほしい」(3)といった要望が寄せられた。また、「靴を脱ぐのが面倒」(1)との声もあった。

開館時間やサービスについては、「日曜日も利用したい」(1)、「移動図書館車がまわってきてほしい」(1)、「新しい本を増やして」(3)等の希望が寄せられた。

また、図書館自体を知らない人も多かったので、「開館日など詳しいことを広報に載せてほしい」(4)との希望もでた。

県立図書館については、「今のままで満足している」(1)という意見もあったが、施設面では、「駐車場から遠い」(2)、「ロッカーのお金が不便」(2)、蔵書については、「新刊の数を増やしてほしい」(3)、「文庫本を増やして欲しい」(1)、開館時間については、「月曜日以外の休館がわかりにくい」(1)、「休館日のないように」(1)等の意見がだされた。

2) 児童・生徒対象

小学3年生から中学3年生までを対象としたこのアンケートは、佐那河内村内の小・中学校の協力のもと、180人から回答を得た (表2)。複数回答の場合は、全回答数を母数とした。

表2 回答者の男女・学年別人数 (人)

| | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 男子 | 9 | 5 | 13 | 15 | 7 | 7 | 10 | 66 |
| 女子 | 8 | 12 | 12 | 12 | 19 | 15 | 11 | 89 |
| 無回答 | 1 | 1 | 2 | 7 | 1 | 9 | 4 | 25 |
| 計 | 18 | 18 | 27 | 34 | 27 | 31 | 25 | 180 |

問1 あなたは学校が休みの時や放課後をどのようにすごしますか。(3つまで○を)

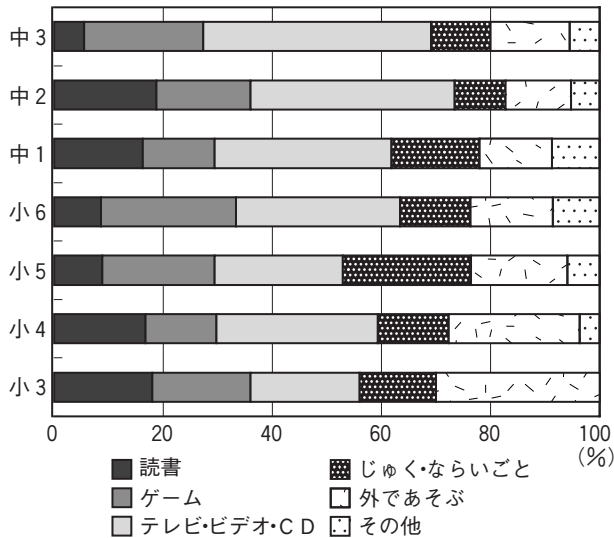


図10 余暇の過ごし方(学年別)

全体で最も多かったのが「テレビ・ビデオを見たりCDを聞いたりする」の143件(31.2%)で、ついで「ゲームをする」87件(19%)、「外であそぶ」80件(17.5%)となっている。「読書」という回答は60件(13.1%)にとどまっている。学年別では、「テレビ・ビデオを見たりCDを聞いたりする」が小学校高学年から目立って増えているのがわかる。「読書」は小学3・4年生で約17~18%、中学2年生で18.7%を占めるが、小学5・6年生で8~9%台、中学3年生では5.5%に過ぎない(図10)。

問2 あなたは、6月1か月の間に、本を何さつ読みましたか。(マンガはかぞえないでください。)

問3 あなたは、6月1か月の間に、マンガ(マンガの雑誌、コミックなど)を何さつ読みましたか。

マンガを除く本の読書量は中学生になると減少する傾向が見られる。逆に、マンガの読書量は中学生になると増加し、本とマンガの読書量の差が大き

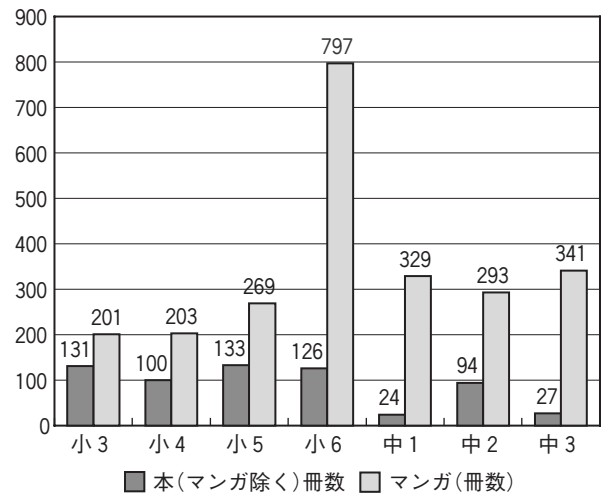


図11 学年別読書量

なっている。小学6年生でマンガの読書量が際立って多いのは、特定の児童がたくさん読んでいるためである(図11)。

問4 あなたは、本やざっしをどのようにして、かりたり買ったりしていますか。(いくつでも○を)

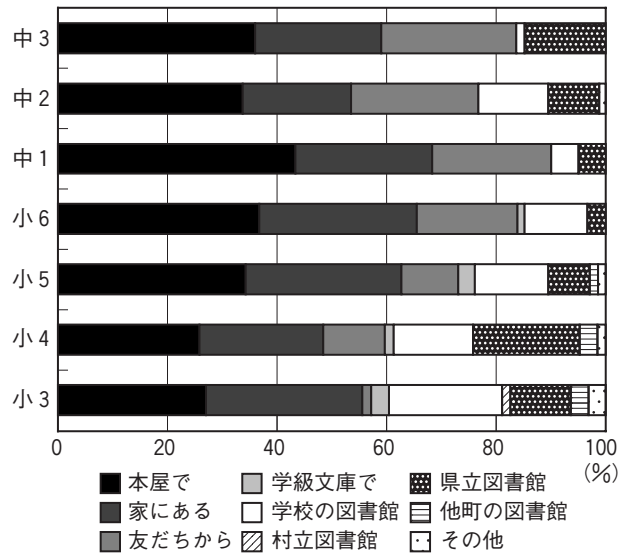


図12 本の入手方法

本屋の利用や友だちとの本の貸借が小学6年生ごろから急増する。私立図書館の利用は小学3年生の1名だけであった(図12)。

問5 6月1か月の間に学校の図書室に行きましたか。(1つだけに○を)

問6 学校の図書室に行った人だけ答えてください。

学校の図書室にはなんのために行きましたか。
(いくつでも○を)

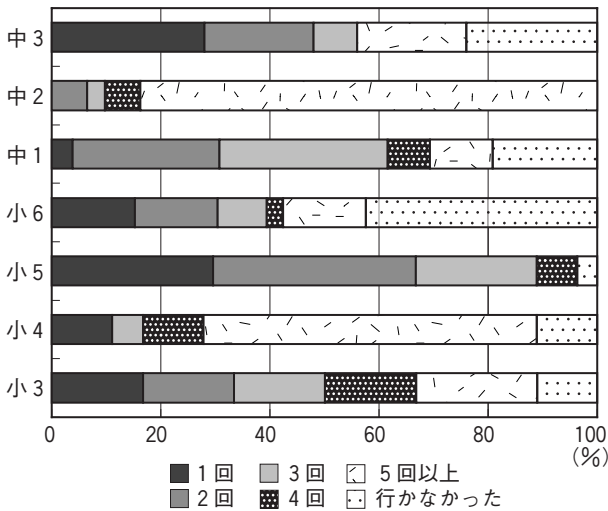


図13 学校図書室の利用頻度

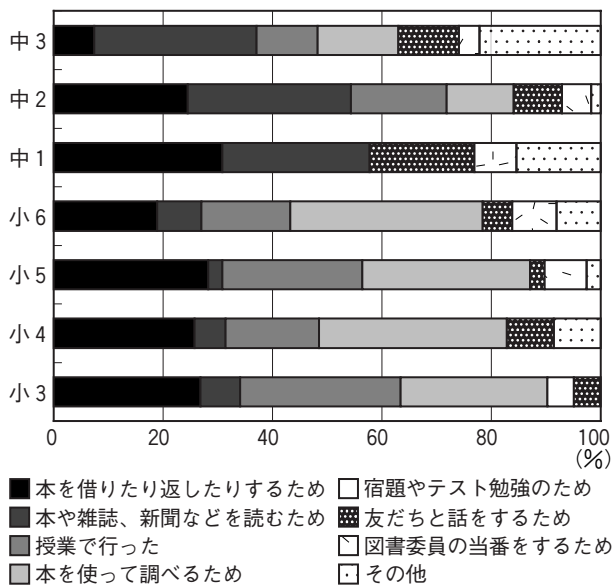


図14 学校図書室の利用目的

学校図書室の利用頻度は、学年によってばらつきが見られる。利用目的は、小学生では、「授業で行った」、「本を使って調べるため」という回答が多く、調べ学習に利用されていることがわかる。中学生では、「本や雑誌、新聞などを読むため」という回答が多くなる。また、「友だちと話をするため」やその他の「クーラーで涼むため」という回答が目についた (図13・14)。

4. 学校図書館

1) 佐那河内小学校：平成13年8月9日見学

書架の入替えと古い図書の廃棄作業のため、図書室は6月から閉めている状態であった。窓が広く外光がよく入り、とても明るい雰囲気図書室である。図書室の運営は図書委員が行い、2時間目と3時間目の休み時間(20分間)と昼休みに開けている。図書費は、年間約50万円で、生徒数141名から考えると割合多いと思う。生徒はどの学年の子もよく読書し、ハードカバーのものも読むことができる。近くに書店がないので、県立図書館もよく利用しているということであった。

2) 佐那河内中学校：平成13年7月30日見学

図書室は校舎の3階にあり、明るく見晴らしもよい。図書委員は、図書の貸出手続きだけでなく、図書の受入れや図書原簿の作成もしている。また、月に一度、図書委員会を開き、学年ごとに「図書室だより」を発行している。

生徒の読書傾向については、女子は普段の生活を題材とした本を好み、男子はゲーム的な要素のものや探偵小説などを好んで、字の小さい本や厚い本はあまり借りない。全体に小学校高学年程度のもがよく借りられる傾向にある。

蔵書数は7,029冊で、年間資料費は35万円。生徒数は85名なので、割合多いほうではないか。ただ、中学生向きの本の出版点数自体が少なく、選書に苦労しているという話であった。

5. 考察

今回の読書調査で注目されることは、佐那河内村立図書館の利用度の低さである。94%の人が一年間に一度も佐那河内村立図書館を利用していないという結果が出ている。ここ最近の図書館設置町村の調査において、最も低い数値になっている。(穴吹町77%、井川町48%、日和佐町46%、北島町31%)

佐那河内村立図書館を利用しない理由としては、「知らない」と答えた人が圧倒的に多く、辛口の意見としては少数ではあるが、「とても図書館と呼べる施設でない」、「蔵書数も少ないし、新刊がない」

などもあった。また佐那河内村立図書館以外の読書施設も利用していないと約半数の人が答えた背景には、佐那河内村の高齢化も関係していると推測できる。読みたいと思う本があっても、わざわざ遠く離れた他の図書館まで行けない、というのが現状であると思われる。

佐那河内村立図書館への希望としては、施設・サービス・広報など幅広く寄せられた。この希望のアンケートは記述式にもかかわらず28の方が記述するなど、図書館への潜在的な要求は根強いので、抜本的な施設・サービスの改善が必要であると思われる。

このような住民の意見を取り入れていけば、当然ながら佐那河内村立図書館の利用頻度は高くなり、利用頻度が高くなれば今よりもっと高い水準での充実が期待できるであろう。また生涯学習の場として

の利用や学校との連携も重要である。

佐那河内村立図書館の現状は白紙に近いものであり、これからいくらでも飛躍できる可能性を秘めている。県立図書館はできる限りのバックアップをしつつ、今後の佐那河内村立図書館の活動を見守りたいと思う。

文 献

- 読書班（2001）：相生町の読書調査、阿波学会紀要、第47号、321～338頁。
- 読書班（1999）：穴吹町の読書調査、阿波学会紀要、第45号、343～359頁。
- 読書調査班（1998）：井川町の読書調査、阿波学会紀要、第44号、329～343頁。
- 読書班（1997）：日和佐町の読書調査、阿波学会紀要、第43号、375～399頁。
- 読書調査班（1996）：北島町の読書調査、阿波学会紀要、第42号、249～260頁。